

消防団ってどういうことしているの？

福岡市消防団員は、火災や自然災害発生時には、自宅や職場などから現場に駆けつけて消火・救助活動を行うほか、地域において応急手当の普及啓発、防災指導、地域を巡回する警戒などを行なっています。入団1年目の団員の活動を中心に紹介します。

新入団員教育

男女問わず消防団に入団すると、まず消防防災の基礎知識や消防活動に必要な消火技術、規律を学びます。



女性も規律を学びます。さらに、救命講習指導法や防火・防災に関することなども学びます。



分団での訓練 消防署との 合同訓練



日頃の訓練内容は様々でみんながんばっています。私も無理のない範囲で参加しています。



地域住民への 防災指導

地域住民に対し自然災害などから身を守るための対策として消防団が中心となって地域住民へ災害図上訓練（DIG）などを行っています。



地域の方と交流することで、生活が楽しくなります



年末夜間特別警戒

消防団車両などで地域を巡回し、火災防止と早期発見に努めています。



毎年、多くの市民に見ていただき消防団員として誇りを感じています。式典では分列行進、演技では一斉放水や消防伝統技術演技などが見どころです。



消防出初式

年のはじめに「市民の安全・安心を守りぬく」という決意のもと、式典や演技を通じて消防の魅力を伝える一大行事です。



消防署と協力し、消火活動を行います。また、住民の避難誘導や周辺の交通整理なども行います。



火災が発生すると、私の携帯電話に出動指令が入ります。私も消防団の車に乗って駆けつけます。

消防団員による会議

定期的に各分団で集まり、行事予定の報告やその他必要事項など会議を開催しています。



あなたも消防団に入って地域のために活躍しませんか。

